

ちよつとしい話

～ 行 動 ～

「進むべき時は、待つべき時は」判断は慎重に行動は迅速に痒い所に手が届く様に出来なくてはと思います。行動を起こす前の鉄則は多々ありますが、一番良いのは行動の結果が及ぼす、その行動に拠って波及する全ての事項が最終的に善と成る事でしょう。佛教では諸悪莫作 衆善奉行 自浄其意 是諸佛教とあります。行動には社会生活を営む為の「善行か悪行か」を判断する智慧が必要になります。

文字が読めても内容を把握出来ず誤った行動をしてしまったり、内容を理解してもそれに従う事をしなかったり、我々は身勝手な行動を取る場面が多々あります。その行動によって他に迷惑が掛かる事が分かっているにもかかわらず自分勝手な行動に出てしまう事もあります。現社会は自己の確立を求めずに他の行動を批判する事がとても多くなっていると思います。今や、日本国の存亡を掛けて各家庭の教育を充実させる必要があります。家庭悪が社会悪の原因を作っていると言っても良いでしょう。もう少し儒教の教えを取り入れ、各家庭の躾と徳育が充実すれば「成人になっても聞く耳を持たない人」「いじめ」「自殺や奇行」も解決する事でしょう。しかしながら、生まれながらにして一人、家族の無い方は国が力添えをしなくてはならないでしょう。全てにあなたまかせでは住み良い社会にはなりません。

人間創造、自分と神、自分と佛、自分と先祖、自分と家族、自分と友達、自分と動物、等々色々な関係があります。人間としてその「間」を司れる、そんな行動が取れば最高ではないだろうか。 肅肅

善入院油掛地藏尊